

このたびは MES-600 メモリーバックアップ電源をご購入いただき誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。
お読みになったあとは、いつでも本書を確認できるよう大切に保存してください。

DC12V 車専用



外形寸法	幅240mm 奥行110mm 高さ220mm
重量	3.5kg
使用バッテリー	12V-7AH
付属品	AC/DC充電アダプター OBD2ケーブル/シガーケーブル

操作パネル



- ①メインスイッチ
- ②LEDライト
- ③ライトスイッチ/USBスイッチ
- ④USB出力ポート (5V/2A)
- ⑤充電ジャック (ゴムカバー付き)
- ⑥接続確認ランプ
- ⑦バッテリーチェックランプ
- ⑧バッテリーチェックボタン
- ⑨DC12Vシガーソケット (ゴムカバー付き)



OBD II ケーブル シガーケーブル AC アダプター DC アダプター

ご使用になる前に

- ※必ず車両の取扱説明書 (バッテリー交換に関する項目) をお読みください。
- ※メーカー、年式、型式、車種により使用できない場合がございます。
バックアップの可否に関し、必ずメーカーまたはディーラーにお問い合わせください。
- ※本製品は短時間 (作業時間10分以内を想定) のバックアップ用です。
長時間の使用はできません。
- ※ハイブリッド車の補器バッテリー交換作業時は、クランプケーブルを使用してください。
- ※本製品は12V車専用です。6V/24V車には使用できません。
- ※本製品の用途は、バッテリー交換時のメモリーバックアップ用の外部電源及びUSB電源
です。本来の用途以外での使用を禁止します。
- ※ご使用になる前には、必ず本機を充電してください。
- ※本製品はすべての車両に対してのバックアップ作業を保証するものではありません。
予めご了承ください。
- ※内蔵バッテリーは保管中に自己放電により電圧が低下していきます。
1ヶ月に一度は付属のACアダプターを使用して充電を行ってください。
放電状態での放置はバッテリーの性能低下の原因となります。
- ※本製品を使用してバックアップ作業を行う際、作業を誤るとショートやスパーク、車両や本機の故障/破損
などにつながるおそれがあります。
作業に自信のない方や経験のない方は、作業を行わずにディーラーや整備工場に作業をご依頼ください。



使用上のご注意 ※必ずお守りください。

この取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぎ、安全にかつ正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

安全に関する重要な事項ですので、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解いただき記載事項をお守りください。

- 本製品は 12V 車専用のバックアップ電源です。

12V 車以外の車両に使用しないでください。誤った使用は本機や車両の故障、破損の原因となります。

- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。

※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

- 本製品を使用する前に、必ず車両の取扱説明書を確認してください。

※誤った作業は事故や怪我、感電の原因となります。

- 本製品を使用するには、ファン・ベルト・プーリーなどに本製品やケーブル、作業者が巻き込まれないよう、十分に注意してください。

※事故や怪我、車両の故障・損傷・感電の原因となります。

- 充電の際は、必ず製品に付属の専用充電アダプターをご使用ください。

指定の充電アダプター以外の物を使用すると、内蔵バッテリーの液漏れや破損、破裂などの原因となります。

- AC アダプターは家庭用コンセント（AC100V）で使用してください。

指定の電圧以外で使用した場合、AC アダプターの故障や本機の故障の原因となります。

- DC アダプターは DC12V 車専用です。

指定の電圧以外で使用した場合、DC アダプターの故障や本機の故障の原因となります。

- 作業中にバッテリー液が身体や車両に付着した際は、速やかにきれいな水で十分洗い流し、目や口に入った場合は洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。

※失明ややけど、皮膚の障害などの原因となります。

- 可燃性のガスや燃料のある場所、第一類・第二類危険個所に指定されている場所では絶対に使用しないでください。また本製品を加熱したり火や水のなかに入れないでください。

※火災や引火、発火・爆発、怪我などの原因となります。

- 作業中は必ず換気を行ってください。

※事故や怪我、感電の原因となります。

- 高温・直射日光下、水没や水に濡れる場所での作業は行わないでください。

※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

- 本製品は防水仕様ではありません。雨天での作業、湿った場所や本体・ケーブルなどが濡れた状態での使用は絶対に行わないでください。

※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

- 本製品の使用温度範囲は0～40℃です。
上記範囲外での使用はバッテリーの劣化や破損、充電アダプターの過熱や故障などの原因となります。
- 車両内や振動の多い場所、ほこりや粉じんの多い場所では保管しないでください。
- 可燃性のガスや燃料のある場所、第一類・第二類危険個所に指定されている場所での充電は行わないでください。
※火災や引火、発火・爆発、怪我などの原因となります。
- 本製品を使用する前に、必ず本製品や付属品に異常や破損等がないことを確認してください。
※異常や破損等が確認された場合は速やかに使用を中止して、お買い求めの販売店様へ修理・点検をご依頼ください。
- 本製品の各コード・ケーブル類、充電アダプターのコードを無理に曲げたり、引っ張るなどの無理な力を加えたりしないでください。
※火災や引火、発火・爆発、怪我などの原因となります。
- 充電中や保管中に、本製品や付属品の上に物を載せたりしないでください。
※火災や引火、発火・爆発、怪我などの原因となります。
- 本製品や付属品を落としたり、衝撃を加えたりしないでください。
バッテリーの破損や液漏れ、故障の原因となります。
- お子様の手の触れる場所に置かないでください。
本製品は、作業に関する正しい知識と経験を有する方の使用を前提としております。
- 使用中に異常が発生した場合には、速やかに使用を中止して、お買い求めの販売店様へ修理・点検をご依頼ください。
- 充電中に異常が発生した場合には、速やかに AC アダプターをコンセントから抜き、充電プラグを本体から抜いて充電を中止してください。その後、お買い求めの販売店様へ修理・点検をご依頼ください。
- 使用後は必ずスイッチを OFF にしてください。
- 本機の出力端子に針金やピンなどの異物、指などを挿入しないでください。
※感電や怪我、事故などの原因となります。
- 使用後は必ず充電を行ってから保管してください。
放電状態での保管は、内蔵バッテリーの性能低下につながり、再充電できなくなることがあります。
使用していない場合でも、1 ヶ月に一度は充電を行い、満充電された状態で保管してください。
- 当社以外での修理や分解が行われた場合には、保証の対象外となります。
点検・修理につきましては、お買い求めの販売店様を通して当社までご依頼ください。
- 本機はすべての車両に対してバックアップを約束するものではありません。
車両の構造上や作業上の理由など、いかなる状況においてバックアップができなかった場合でも、当社ではその責任を負いかねます。



保管上のご注意 ※必ずお守りください。

- 保管時はすべてのスイッチを OFF にして、プラグやケーブル等はすべて取り外した状態で保管してください。
- 本体は立てた状態で保管してください。また、保管中に落下や転倒をするおそれのある場所での保管は控えてください。
- 放電したままの状態では保管しないでください。
※内蔵バッテリーの劣化につながり、過放電により使用できなくなることがあります。
- 長期間使用しない場合でも、定期的に充電状態をご確認の上、充電状態を維持して保管してください。
※1 ヶ月に一度は充電状態を確認し、付属の充電アダプターで充電を行ってください。
- 炎天下や直射日光の当たる場所、火気の近くや高温になる場所や車内、燃料や溶剤、可燃性のガスなど可燃物の近く、湿度の高い場所や水にぬれる可能性のある場所では保管しないでください。
- 本体の上に重いものを載せたりした状態では保管しないでください。
- お子様の手の届く場所では保管しないでください。

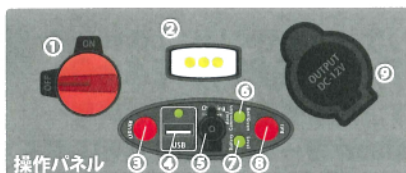
充電方法

※ご使用になる前に必ず充電を行ってください

- はじめてご使用になる前に、必ず満充電になるまで充電を行ってください。
- 充電は車両に接続していない状態で行ってください。
- 充電は必ず付属の専用充電アダプターで行ってください。
- 付属の充電アダプターを本機の充電以外の用途で使用しないでください。

A AC アダプターを使用する方法

- 1 ●充電は本機が車両に接続されていない状態で行ってください。
●①のメインスイッチが OFF になっていることを確認してください。
●USB/LED ライトが OFF になっていることを確認してください。



- 2 ⑤の充電ジャックのゴムカバーをめくり、充電ジャックに AC アダプターの充電端子を接続してください。
- 3 AC アダプターをコンセントに接続してください。
- 4 ⑦のバッテリーチェックランプが点灯（赤）して、充電が開始されます。
- 5 充電が完了すると、⑦のバッテリーチェックランプの点灯が（緑）に変わります。
- 6 AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- 7 AC アダプターの充電端子を本機から抜いて、ゴムカバーを元に戻してください。

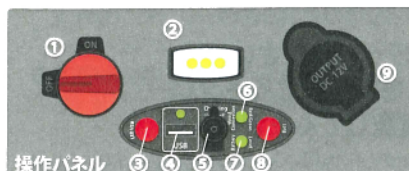
4 注意

- 充電完了後は必ず AC アダプターをコンセントから抜き、充電端子を本体から抜いてください。過充電は内蔵バッテリーの劣化や性能低下の原因となります。
- 充電は必ず付属の専用充電アダプターをご使用ください。
- AC アダプターは AC100V のコンセント以外では使用しないでください。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。
- 燃料や可燃性のガス、溶剤など可燃物や危険物のある場所では充電しないでください。

充電方法

B DC アダプターを使用する方法

- 1 ●充電は本機が車両に接続されていない状態で行ってください。
●①のメインスイッチが OFF になっていることを確認してください。
●USB/LED ライトが OFF になっていることを確認してください。



- 2 ⑤の充電ジャックのゴムカバーをめくり、充電ジャックに DC アダプターの充電端子を接続してください。
- 3 DC アダプターをエンジンがかかっている 12V 車のシガーソケットに接続してください。
- 4 ⑦のバッテリーチェックランプが点灯（赤）して、充電が開始されます。
- 5 充電が完了すると、⑦のバッテリーチェックランプの点灯が（緑）に変わります。
- 6 DC アダプターをシガーソケットから抜いてください。
- 7 DC アダプターの充電端子を本機から抜いて、ゴムカバーを元に戻してください。

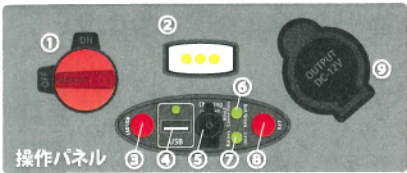
4 注意

- DC アダプターでの充電は、簡易的 / 一時的な充電となります。
通常の充電は AC アダプターを使用して行ってください。
- 充電中は車両の窓を開け、換気を行ってください。また、充電の際は締め切った車庫内などでは行わないでください。※一酸化炭素中毒など、事故の原因となります。
- DC アダプターは 12V 車専用です。
- 車両の周りに枯草やゴミなどの燃えやすいものがあるような場所では充電を行わないでください。

使用方法

- ⚠ 本製品はバッテリー交換時のメモリーバックアップ用（短時間用）です。
修理や整備、钣金作業などを伴う長時間の使用はできません。
- ⚠ 車両により、本製品を使用してもメモリーバックアップができない場合があります。
- ⚠ 本製品を使用する前に、必ずメーカー及び販売ディーラーにバックアップの可否をご確認の上、ご使用ください。
- ⚠ 本製品は 12V 車専用です。12V 車以外では使用できません。

A OBD2 ケーブルを使用する方法

- 1 ●車両のエンジンが停止していることを確認してください。
●車両のすべての電装品のスイッチが OFF になっていることを確認してください。
※車両の取扱説明書を確認してください。
●エンジン停止直後、車両によってタイマー機構等を備え、一定時間電装品が働く構造の車両があります。
エンジン停止後、しばらく時間をおいてから作業に移ってください。
 - 2 車両のキースイッチが OFF になっていること、①のメインスイッチが OFF になっていることを確認してください。
- 
- 3 ⑧のバッテリーチェックボタンを押し、⑦のバッテリーチェックランプが点灯（緑）することを確認してください。
※バッテリーチェックランプの点灯が（赤）の場合は、作業の前に必ず充電を行ってからご使用ください。（5 ページ参照）
 - 4 ①のメインスイッチを ON にして、付属の OBD2 ケーブルを⑨のゴムカバーをめくりシガーソケットに接続してください。
 - 5 OBD 2 ケーブルのシガープラグの LED が赤く点灯することを確認してください。
※LED が点灯しない場合は使用できません。シガープラグ内のヒューズが切れていないか確認し、切れている場合は交換してください。
※それでも LED が点灯しない場合は、使用を中止して本機の点検をご依頼ください。

使用方法

6 OBD2 ケーブルを車両に接続してください。

7 バッテリーを交換してください。

※車両のバッテリーケーブルには、本機から供給されている電気が流れています。
バッテリー交換作業中にバッテリーケーブルが車体や車両の金属部に触れると
ショートを起こし、車両の故障や機器の故障、事故やケガ等の原因となります。
作業の際は十分に注意してください。

 バッテリーの交換作業は、車両の取扱説明書の指示に従ってください。

8 ①のメインスイッチを OFF にして車両から OBD2 ケーブルを抜いてください。

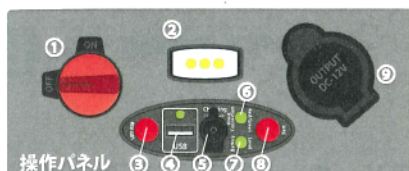
9 OBD2 ケーブルを本機から抜き、⑨のゴムカバーを元に戻してください。

10 以上で作業完了です。

使用方法

B シガープラグを使用する方法

- 1 ●車両のエンジンが停止していることを確認してください。
●車両のすべての電装品のスイッチが OFF になっていることを確認してください。
※車両の取扱説明書を確認してください。
- 2 車両のキースイッチを ACC にしてください。
※ACC への切り替えは、車両の取扱説明書で確認してください。
- 3 ⑧のバッテリーチェックボタンを押し、⑦のバッテリーチェックランプが点灯（緑）することを確認してください。
※バッテリーチェックランプの点灯が（赤）の場合は、作業の前に必ず充電を行ってからご使用ください。（5 ページ参照）



- 4 ①のメインスイッチを ON にして、付属のシガーケーブル「To Battery」と書かれた方を⑨のゴムカバーをめくりシガーソケットに接続してください。
- 5 「To Car」と書かれた方のプラグを車両のシガーソケットへ接続してください。
- 6 バッテリーを交換してください。
※車両のバッテリーケーブルには、本機から供給されている電気が流れています。
バッテリー交換作業中にバッテリーケーブルが車体や車両の金属部に触れるとショートを起こし、車両の故障や機器の故障、事故やケガ等の原因となります。
作業の際は十分に注意してください。
- ⚠ バッテリーの交換作業は、車両の取扱説明書の指示に従ってください。
- 7 ①のメインスイッチを OFF にして車両からシガーケーブルを抜いてください。
- 8 シガーケーブルを本機から抜き、⑨のゴムカバーを元に戻してください。
- 9 以上で作業完了です。

使用方法

C クランプケーブルを使用する方法

- 1** ●車両のエンジンが停止していることを確認してください。
●車両のすべての電装品のスイッチが OFF になっていることを確認してください。
※車両の取扱説明書を確認してください。
●エンジン停止直後、車両によってタイマー機構等を備え、一定時間電装品が働く構造の車両があります。
エンジン停止後、しばらく時間をおいてから作業に移ってください。

- 2** 車両のキースイッチが OFF になっていること、①のメインスイッチが OFF になっていることを確認してください。



- 3** ⑧のバッテリーチェックボタンを押し、⑦のバッテリーチェックランプが点灯（緑）することを確認してください。

※バッテリーチェックランプの点灯が（赤）の場合は、作業の前に必ず充電を行ってからご使用ください。（5 ページ参照）

- 4** 本機のクランプケーブル（赤）を車両のバッテリーターミナル「+」に、クランプケーブル（黒）を車両のバッテリーターミナル「-」に接続してください。

各クランプケーブルが正しく車両に接続されると、⑥の接続確認ランプが（緑）で点灯します。

※⑥の接続確認ランプが点灯しないまたは（赤）で点灯する場合は、クランプケーブルが車両に対し正しく接続されていません。クランプケーブルを正しく接続してください。

接続を確認しても接続確認ランプが（緑）で点灯しない場合は、車両の故障や搭載バッテリーの不良などが考えられます。この場合は本機の使用を中止してください。

- 5** ①のメインスイッチを ON にしてください。

使用方法

6 バッテリーを交換してください。

※バッテリークランプをバッテリーから外す際は、車両に接続している本機のクランプコードが絶対に外れないように十分注意してください。

クランプコードが外れてしまうと、電源の供給がされず、バックアップができません。

※作業中にバッテリーケーブルやクランプコードが車体や車両の金属部に触れるとショートを起こし、車両の故障や機器の故障、事故やケガ等の原因となります。作業の際は十分に注意してください。

7 ①のメインスイッチを OFF にして車両からマイナス / プラスの順番でクランプケーブルを外してください。

8 以上で作業完了です。

LED ライト /USB 端子 使用方法



●③のライト /USB スイッチを押すごとに

②LED ライト点灯→LED ライト消灯及び USB 出力 ON→USB 出力 OFF
と順番に切り替えることができます。

※LED ライトは直視しないでください。

※LED ライトは人や動物に向けて照射しないでください。

※USB 出力は 5V/2A 仕様